

35. ECTによる腎動態機能検査 ..... 竹田 寛他...558  
 36. 悪性腫瘍におけるリンパ節シンチグラフィーの役割 ..... 中嶋 憲一他...558  
 37. 食道リンパ節シンチグラフィー 一その有用性と限界一 ..... 亀井 哲也他...558  
 38. RI リンゴラフィによる下肢リンパ流動態の検討 ..... 仙田 宏平他...559  
 39. 骨シンチグラム (<sup>99m</sup>Tc-MDP) にて描出し得た興味ある症例の検討 ..... 安田 錦介他...559

## 演題

### 1. 二抗体法による CEA RIA kit の基礎的検討

松尾 定雄	金森 勇雄	樋口ちづ子
木村 得次	市川 秀男	安田 錦介
吉田 宏	(大垣市民病院・特放セ)	
中野 哲	北村 公男	綿引 元
武田 功	(同・二内)	
佐々木常雄	石口 恒男	(名大・放)

CEA RIA kit(二抗体法, Eiken)について測定上に関する基礎的検討を行い次の結論を得た。

- 1) 被検血清は 0.1 ml, CEA 抽出操作は不要で有り、操作が簡便である。
- 2) 標準曲線の再現性は C.V. 6.5~12.2% の間に有り良好であった。
- 3) Incubation 条件は第 1 インキューバーション室温で 16 時間以上, 第 2 インキューバーション室温で 30 分以上で十分である。
- 4) 被検血清の再現性, 稀釈試験, 回収試験等はいずれも良好なる成績が得られた。
- 5) 本キットとサンドイッチ法との相関係数は  $r=0.824$  ( $p<0.01$ ,  $n=45$ ) であった。
- 6) 当院職員の血清 CEA 値は, 17 名は測定感度以下で残る 30 名の M.V. $\pm$ S.D. は  $1.67 \pm 0.43$  ng/ml であった。
- 7) 悪性疾患の陽性率は, 2.5ng/ml 以上を陽性とした場合 59.0 % (78/132) で内訳は大腸癌 68.4 % (26/38), 胃癌 54.2 % (32/59), 胆嚢癌 80 % (4/5) 等で有った。

### 2. HBe 抗原・抗体 RIA kit の基礎的検討

金森 勇雄	松尾 定雄	樋口ちづ子
木村 得次	市川 秀男	安田 錦介
吉田 宏	(大垣市民病院・特放セ)	
中野 哲	北村 公男	綿引 元
武田 功	(同・二内)	
佐々木常雄	石口 恒男	(名大・放)

Radioimmunoassay による B 型ウイルス性肝炎関連抗原・抗体の測定は HBs 抗原・抗体を初めとし HBe 抗原・抗体および HBc 抗体の測定を可能としている。今回われわれは, HBe 抗原・抗体測定用 RIA キットについて基礎的検討を行ったので報告する。

#### 結論

- 1) incubation 条件  
HBeAg; 1st. 25°C, 22 時間  
2nd. 45°C, 3 時間
  - AntiHBe; 1st. 25°C, 22 時間  
2nd. 45°C, 3 時間
- 設定条件は厳密に一定を保つ必要がある。
- 2) 再現性
    - 同時再現性の変動係数  
HBeAg は比で 4.9~7.9%, AntiHBe も率で 0.5~92.2% の間にあった。
    - 日差再現性の変動係数  
HBeAg は比で 11.1~31.5%, AntiHBe は率で 1.4~137.5% の間にあった。
    - 同時, 日差再現性ともに判定基準に変化を示した検体は認めなかった。
  - 3) 希釈試験  
高濃度検体でも一定の希釈倍率以上では直線性が認められる。
  - 4) 測定感度  
RIA は MD 法に比し, ほぼ 500 倍程の感度を有す